



TOKYO ROPPONGI ROTARY CLUB

東京六本木ロータリークラブ

Rotary

WEEKLY REPORT

Thank You, Rotary

東京六本木ロータリークラブ会長

2014年9月8日発行 第408号

2014-2015年度 No. 8



今日のプログラム

平成26年9月8日

卓話『アジアの中の日本』

東京大学 名誉教授

早稲田大学アジア研究機構 招聘研究員

公益財団法人日韓文化交流基金 評議員

伊藤 亜人様

プロフィール

昭和18年 東京生まれ。東京大学卒業、助手、助教授を経て教授～2006年(名誉教授)。琉球大学教授、早稲田大学教授。米国ハーバード大学、英国ロンドン大学SOAS客員研究員、韓国ソウル大学校招聘教授。専門は文化人類学・民俗学・韓国研究。

1971年より韓国農村等において現地調査に従事。第11回渋沢賞(1977年度)、大韓民国玉冠文化勳章(2003年)。主要著書:『アジア読本 韓国』(1996年,河出書房)、『韓国珍島の民俗紀行』(1996年,青丘文化社)他

クラブからのお知らせ [9月1日例会]

● 山本会長挨拶

- 8月26日に東松島市に津波避難路の支援機器をお届けしてまいりました。詳しくは社会奉仕委員会の渡辺委員長より報告していただきますが、現地の復興工事では大きなトラクターなどが多数働いており、まだまだ大変な実情を拝見してきました。
- さて、本日は卓話にお出でいただいた古田様がクリーニングの秘訣を書かれた本を1冊200円で提供して下さいました。この売上はそのまま当クラブのニコニコBOXにご寄付いただくことになっています。このような斬新な企画をご教示いただくことに大いなる喜びを感じものです。心から感謝申し上げます。

● 渡辺社会奉仕委員長より

- 東松島市宮戸に山本会長・齋藤幹事・角山副会長・渡辺の4名で行き、山の避難路整備の機材を寄贈しました。

● 齋藤幹事報告

- 先日皆様にお知らせいたしました地区の「ロータリーリーダーシップ研究会」の第一回目の詳細が参りました。日には、10月10日(金)、時間は10時から18時まで、場所は国立オリンピックセンターです。ご希望の方は申込書にご記入の上、9/22までに事務局にFAXしてください。登録料は¥2,000です。
- ・ポリオ撲滅チャリティー実行委員会主催「PLATTERS」のコンサート並びにオークション&ディナーのチラシが届きました。ご興味のある方は個別にてお申し込みください。

● 高柳広報・週報委員長より

- 本日発行の週報第407号4ページに、出席率の日付が「9月1日」と記載されていますが「8月25日」の誤りです。申し訳ありませんでした。修正の程お願いいたします。



平成26年8月18日
卓話『環境の時代をデザインで走り続ける』

建築家
長岡造形大学 教授
有限会社アーキスタジオ川口一級建築士事務所 代表取締役
川口 とし子 様



私、新潟県加茂市という、昔の桐箪笥の産地の出身で、箪笥屋の娘で育ちました。今は新潟県長岡市の長岡造形大学で教鞭を取っております。私はリフォームの仕事も多いんですが、新築の仕事や小さな照明器具、家具など色々デザインしております。

私が関わったいくつかの例を紹介させていただきます。長岡市のセレクトショップは正方形で、豪雪地帯にもかかわらず中庭を取りこんでおります。住宅程度の大きさで、真ん中部分のガラスのシリンダーはクライアントの奥さんの希望でコスト調整の時にもボソにならず残りました。こういうちょっと変わったポイントがあるだけで、お店の名前を覚えてもらえないでも、あのガラスのシリンダーのあるお店だよというふうに口伝えに広がっていくのが店舗造りの1つのポイントかなと感じています。竜巻やゲリラ豪雨など、ここ数年で自然災害の規模も変わり、この曲面ガラスもコストの許す限り分厚いガラスを使っております。

次は東京の根津の、間口が3m、奥行きが12mの小住宅です。ビフォーアフターをご覧になったクライアントが定年退職を機に建て替えを計画されました。商業地域もあるので4階建ての鉄骨造を提案させていただきました。1階は三方建物に囲まれて採光もいまひとつなので、2階に食堂やら水回り、3階と4階にお部屋という設計になっています。とにかく明るい家にしてくださいというのが希望で、色々な工夫で実現できたと思っています。

リフォームに関しては、震災が起こる前から日本人の建物への指向性が変わったという兆候が表れておりました。戦後の住宅難の中、新築、持

家という状態でずっときていたんですが、5、6年前から30代の若者を中心に首都圏のマンションでは新築よりも中古の人気が高まつておりました。「中古マンション買ってリフォームが正解」という本を2010年の暮れに出させていただいたんですが、まさかその次の年の3月11日に大震災が起るとは思ってもみませんでした。住宅の寿命がアメリカでは44年、イギリスは75年といわれる中、日本は30年以下で、スクラップアンドビルドを繰り返すフロー型の社会からストック型の社会への転換が急務だと言われて来たわけです。震災以後、日本でも省エネに対する意識が猛然と高まり、いろんな動きが起こっています。

次は新小岩の物件で、私がビフォーアフターで携わったものです。お寿司屋さんのご主人が亡くなられ、看板も下ろしたあとの建物を住宅用にリフォームしたいと応募されたもので、非常に洒落で建物も立派なものでしたが、土間はあるし厨房もプロ用でしたので、バリアフリーの要素も入れてリフォームさせていただきました。この件ではビフォーアフター大賞のキッチン水回り部門で第3位をいただきました。オンエアが9月7日か14日に予定されております。多くの方にご覧いただければ、関係者一同喜ぶと思います。よろしくお願ひいたします。





2014-15年度 第3回理事会報告

【報告事項】

1.10周年記念事業について

- ・山本会長及び平松実行委員長から、本日開催された実行委員会の状況も踏まえて、以下のとおり10周年記念事業の準備状況の報告がなされ、意見交換がなされた。
 - ①全体として、大過なく準備作業は進んでおり、当日のスケジュールとその中身も大要がみえてきている。今後は、記念式典の案内を関係各所に送付する準備を進める。来月(10月)の理事会では、スケジュールの報告をすることを予定している。
 - ②盛会にすべく、山の手東グループの諸クラブにキャラバンによる広報活動をすべきとの意見がある。これを実施する場合には、会員各位のご協力を頂きたい。
 - ③記念式典への出席者に記念品としてホテルのケーキを配布する案がある。この案に対しては、理事会メンバーから異論は出なかつた。

2.東松島市訪問について

- ・山本会長から、地区復興支援金による「東松島地区」に対する支援の実行として、山本会長、角山副会長、渡辺社会奉仕委員長及び齋藤幹事の4名が、同地区にある津波時の避難路の確保のため、チーンソーやポンプ等の購入物品の引渡しを行ったことが報告された。引渡式の時刻の関係で、先方は現地ボランティアの会の会長及び副会長による応対であったが、先方のご配慮で地元紙の取材の対象になり、また、引き渡した購入物品には当クラブのネームプレートも付され、当クラブによる奉仕活動の意義を形で残すことができた。なお、購入物品が実際に使用された場合には、現地から写真によりその状況をご報告を頂けることになっている。

3.その他

- ・齋藤幹事から、台湾の桃園芦竹(Luzhu)RCから、Eメールにて、当クラブと友好関係を結びたいとの申し出があったことが報告された。桃園芦竹RCは国際ロータリー第3500地区に属する設立7年目のクラブであり、本年10月に当クラブを表敬訪問したいとのこと。当クラブはどのクラブとも姉妹クラブ関係を結んではいないことを踏まえて、対応について意見交換がなされた。台湾は親日的であり同様の話は過去にもあったとの報告、相互に持続的に友好関係を維持する活動をすることは

大変であるとの意見があり、10月の表敬訪問の申し出はお受けすべきだが、それ以上の対応は慎重にすべきとの意見に異論はなかった。

【審議事項】

1.2014-15年度予算(案)について

- ・中川会計担当から、本年度予算案の修正案について、説明がなされた。前回の理事会で議論された予算案では、約300万円の赤字予算であったが、各委員会における予算の縮減などを検討した結果、修正案では約150万円の赤字予算となった。(※なお、机上配布された修正予算案では、青少年奉仕委員会の予算として5万円が計上されているが、これは0円となるべきである。)
- ・この修正予算案につき、プログラム委員長でもある門田理事より、意見が述べられた。すなわち、プログラム委員会の予算は80万円となっており、今年度前半で約30万円の執行状況であるところ、後半は外部講師の招聘が多いため、残り50万円という予算の枠内での執行は難しく、講師への謝礼を5万円から3万円にすることは如何か、というもの。これについては、従来、講師への謝礼が3万円であったのを、低額であるとして5万円にした経緯があったとの指摘があり、予算額は絶対的ではないが、謝礼を3万円に戻すことはせずに、第2750地区のロータリアンを講師としてお呼びするなど、予算内での執行を目指す工夫を図ることとされた。
- ・以上の質疑応答を踏まえ、修正予算案が満場一致で承認された。

2.その他

- ・山本会長から、東京広尾RCから、同クラブが主体的に取り組んでいるケニア水支援につき、協力クラブとして当クラブも加わらないかと打診を受けていることが報告された。こうした協力要請は他にもあるが、このプロジェクトは過去の実績があり足場がしっかりした事業であること、協力クラブが既に7クラブ存在していること、協力クラブとなることで当クラブによるグローバル補助金の申請にも幅を持たせられるようになることなどから、当クラブとしても協力クラブとして参加する方針が異議なく承認された。まずは、9月11日に予定されている同プロジェクトのための第4回目の合同委員会に人を派遣することとなる。

ジュディ・オングさん、ロータリーのポリオ撲滅大使に



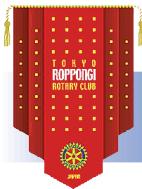
今年度RI会長ゲイリー C.K. ホアン氏と同じ台湾出身の歌手のジュディ・オングさんが、ポリオ撲滅キャンペーンの参加者リストに加わりました。人気歌手として活動するかたわら、女優業や版画に力を入れているジュディ・オングさん。ポリオ(急性灰白髄炎、小児マヒ)のない世界をめざすロータリーの取り組みに賛同し、ポリオへの認識向上を図るキャンペーン広告で、ポリオ撲滅まで「あと少し」であることを示すポーズを披露してくれました。オングさんはまた、チャリティーコンサートを通じて多くの慈善活動を行っています。

このキャンペーンでは、多くの著名人が参加しているほか、テレビ広告用に利用できる動画「This Close(あと少し)」も作成されています。

(財団室NEWS 2014年8月号より転載)

ポリオ撲滅応援サイト: www.endpolio.org/ja

メディアセンター: www.rotary.org/ja/news-features/media-center



例会日》月曜日 12:30 – 13:30 例会場》グランドハイアット東京 (TEL: 03-4333-1234)

Rotary



■ ■ ニコニコBOX情報

品川 博美さん(東京西RC)

自宅が近いので、お昼ごはんを食べにきました。

角山 一俊さん

やつと夏が終り、秋ですね。

食欲の秋、ダイエットも気になります。

森 佳子さん

急に涼しくなりました。今月は私の誕生日です。

末松 亜斗夢さん

古田様、本日の卓話を楽しみにしております。

山中 祥弘さん

浅田さん、先週の卓話、勉強になりました。キープ協会理事長就任期待しています。感謝。

宇佐見 千嘉さん

お暑さもだいぶおさまってまいりました。

古田武様ようこそおいで下さいました。卓話を楽しみにさせていただきます。

小笠 裕子さん

古田様、本日の卓話を楽しみにいたしております。よろしくお願ひいたします。

苅田 吉夫さん

新しい月を迎え気分も新たに活動したいと思います。古田様のお話を楽しみにしています。

中川 勉さん

夏もおわりですね。

門田 真乍子さん

古田武様、生活の智恵、お聞きできるの楽しみにしています。

浅田 豊久さん

72回目の誕生日です。

古田さんよろしくお願いします。

■ ■ 次回のプログラム

平成26年9月22日 『クラブ協議会』

平松 和也さん

9月1日を迎えた。私どもの事務所では、防災グッズの点検をする日です。皆様はどうしておられますか。

渡邊 滋さん

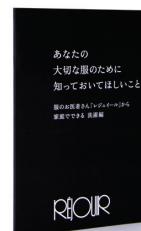
夏の終りも、やはりいまだに稻田が美しい。

「日の落ちし あとのあかるき青田かな」

久保田万太郎

9月1日 合計 63,200円

累計 346,200円



卓話のゲスト古田武様より、例会にお持ち頂いた著書の売上14,200円をご寄付頂きました。古田様、ありがとうございました。

9月お誕生月の会員



高柳公康さん、森 佳子さん
苅田吉夫さん、マウラー・ピー・リードさん
浅田豊久さん、片岡雅敦さん
鈴木エドワードさん(例会は欠席)

9月1日の例会出席率 (暫定)

・会員の例会出席数(出席率) 32名 (67%)

・ゲスト・ビジターの参加者数 6名

※ メーキャップを含めていない暫定の人数です。



この印刷に使用している用紙は、森を元気にするための間伐と間伐材の有効活用に役立ちます

東京六本木ロータリークラブ

会長 山本 良樹 幹事 斎藤 明子

広報 員長 安井 悅子

広報・週報 員長 高柳 公康

広報・週報 委員長 山本 章博

事務局) 〒106-0031 東京都港区西麻布3-2-13 コートアネックス六本木503号室 TEL: 03-6721-1555 URL: <http://www.tokyoroppongi-rc.jp/>